

1. 日時 平成30年1月22日(月) 5校時
2. 学年 第1学年 9名
3. 単元名 ～「どうぶつの赤ちゃん」はかせになりきって

『どうぶつの赤ちゃんブック』をつくろう～

「どうぶつの赤ちゃん」

4. 単元について

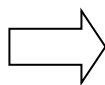
- 本教材は、本文(「問題提起」「①ライオン・しまうま」)、学習の手引き、本文(「③カンガルー」)で構成されている。まず、①ライオンと②しまうまをしっかりと対比させて読むようになっている。学習ページの最後には、③カンガルーが掲載されており、比較読みをすることでさらに学習を広げることができるようになっている。また、本単元は、説明の観点がそろっていることで、前に学習した方法で読み取りを進めることができ、比較もしやすい。

一年生の児童にとって、次々に新たな動物の赤ちゃんの様子を読み取ることは、「次の動物の赤ちゃんはどうなっているのだろうか」と知的な好奇心を高めることにつながる。また、「どうぶつの赤ちゃん」はかせになろうという単元名は、児童がさらなる興味を持って学習に臨めると考える。

- 本学級の児童は、6月教材「くちばし」では、問いと答えが三回繰り返されている文章を学習してきた。また、9月教材「うみのかくれんぼ」では、問いに対する答え-答え-答えで説明されている文章を、11月教材「じどう車くらべ」では、冒頭に二つの問いが示され、続けてそれに対する答えが説明されていく文章構造を学習してきた。また、文章を読み、自分の経験を結び付けたり比較したりしながら読むことも経験してきた。
- 本時においては、まず、動物の赤ちゃん同士を対比的に読み取りやすくするため、二段組みにしたテキストを使用する。次に、二つの動物の赤ちゃんを読み取る際、以下の二点の手立てをもとに読み取りを進めていく。一点目は、あらかじめ本時まで印をつけていた両者に共通する言葉に着目させ、表にまとめていく。また、それが比較する観点であることや違いが明確になることにつながることに気付かせる。二点目は、時間的な順序を表す言葉に着目させる。特に時間的な経過がつかみにくい言葉も出てくるので、本時においてはカレンダーも用いながら時間的経過をとらえさせていく。また、単元の終わりには、『どうぶつの赤ちゃんブック』を作ることを設定し、図鑑などを使って調べて得た情報をもとに、動物の赤ちゃん博士になるという目標を持って分かりやすいまとまった文章を書かせていく。

児童の実態

- 動物などの生き物に対する興味が高い児童が多く、図鑑などにもよく触れている。
- 書かれている事柄について、内容理解ができていない児童がいる。
- 問いに対する答えを対応させながら読むことが苦手な児童がいる。
- 図書などから書こうとする題材に必要な事柄を集め、分かりやすく書くことができる児童は少ない。

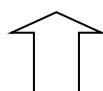


めざす児童像

- 説明的文章を正しく音読できる児童。
- 問いに対する答えを対応させながら正しく読むことができる児童。
- 課題意識をもち、一人一人が自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりすることができる児童。
- 図書などから書こうとする題材に必要な事柄を集め、順序に沿って分かりやすくまとまった文章を書くことができる児童。

本単元で育てたい資質・能力

①課題発見・解決力	○
②表現力	◎
③チャレンジ精神	
④自らへの自信	



手立て

- 複数の事例（二つの動物の赤ちゃん）を対比的に読みやすくするため、縦に段組みにしたテキストを使う。
- 共通する言葉を見つけ、表にまとめさせることで、それが比較する観点であることや違いが明確になることに気付かせる。
- 時間的な順序を表す言葉について、捉えにくい児童には、時計やカレンダーを用いて時間の経過をつかませ、読み進めていく。
- 単元のゴールとして、動物の赤ちゃん博士になって『どうぶつの赤ちゃんブック』づくりを設定し、単元を通して対比しながら読むという課題意識を持たせる。

使わせたい用語

「○○○は・・・だけど、△△△は・・・」「～に比べて」「にているところ」「ちがうところ（ちがい）」

5. 単元の目標

時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書き抜くことができる。

【読むこと（1）イ】

6. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む力	書く力	言語についての知識・理解
・動物の赤ちゃんについて説明されている文章や図鑑などを読み、進んで調べようとしている。	・動物の赤ちゃんを比べ、その違いについてまとめている。 ・目的に応じて、大事な言葉や文を書き抜いている。	・書こうとする題材に必要な事柄を集めている。 ・文と文との続き方に注意して、つながりのある文章を書いている。	・主語と述語の関係に注意し、動物の赤ちゃんの様子を読み取っている。 ・敬体で書かれた説明には2種類あることを理解している。

7. 指導と評価の計画（全9時間）

次	時	学習活動	評価					評価方法
			関・意	読む	書く	伝国	評価規準	
第1次	1	赤ちゃんについて知っていることを話し合い、学習課題を確かめる。 課題発見・解決力	◎			○	・学習の見通しをもち、学習材について関心をもって読もうとしている。	ノート 発言
	2	本文を読み、学習の見通しをもつ。 課題発見・解決力		◎			・初めて知ったことや不思議に思ったことなどについて、感想や疑問をもっている。	ノート 発言
第2次	3	ライオンとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読み取り、違いを比べる。 課題発見・解決力		◎			・ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を、それぞれ比べながら読んでいる。	ワークシート 発言
	4	ライオンとしまうまの赤ちゃんの成長の様子を読み取り、違いを比べる。 課題発見・解決力		◎			・ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの成長の様子を、それぞれ比べながら読んでいる。	ワークシート 発言
	5 (本時)	「カンガルーの赤ちゃん」を読み、ライオンやしまうまの赤ちゃんと比べて、似ているところや違うところを見つける。 課題発見・解決力		◎			・カンガルーの赤ちゃんとライオンやしまうまの赤ちゃんについて、それぞれ比べながら読んでいる。	ワークシート 発言
第3次	6・7・8	他の赤ちゃんについて図鑑で調べ、『どうぶつの赤ちゃんブック』にまとめる。 表現力			◎		・動物の赤ちゃんについて説明されている文章や図鑑などを読み、進んで調べたことをもとに文章に書いている。	ワークシート
	9	他の動物の赤ちゃんについて調べたことを交流し、感想を伝え合う。 表現力			◎		・文章の組み立てに沿って、分かり易い文章を書いている。	ノート 発言

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

カンガルーの赤ちゃんの様子を読み取り、ライオンやしまうまの赤ちゃんの様子と比べて似ているところや違うところを見つけることができる。(読むこと)

(2) 観点別評価規準

◎時間的な順序を考えながら、目的に応じて、大事な言葉や文を書き抜いている。(読むこと)

(3) 準備物

教：カンガルーの赤ちゃんの写真，教材文（拡大），短冊カード

児：ワークシート

【習得している知識・技能等】

- ・「問い」と「答え」
- ・問い①「生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのでしょうか。」
- ・問い②「どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。」

本時の学習を通して育てたい力

- ・問いに対する答えを対応させながら読む力
- ・二つの事項を対比しながら読む力
- ・時間的な順序を表す言葉に着目する力

(4) 本時の展開

過程	学習活動 主な発問 (◎) と予想される 児童の反応 (・)	指導上の留意事項 (・) と「努力を 要する」状況と判断した児童への 支援 (●)	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 前時までの学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までで学習したことを確認し、本時はカンガルーの赤ちゃんについて読み取ることを確認する。 ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの比較整理したものを表で整理しておく。 	
	2 本時の課題意識をもち、めあてを設定する。		
	㊦カンガルーの赤ちゃんは、どんなようすで生まれ、どのように大きくなっていくのかライオンやしまうまとくらべよう。		
	3 学習範囲を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な文やことばに線を引かせる。 ・比べている観点を前時までと同様に板書に提示して整理させる。 	
	4 カンガルーの赤ちゃんの様子について話し合う。 ◎カンガルーの赤ちゃんの生まれたばかり		
		①生まれたばかりのようす	

<p>ふかめる</p> <p>まとめる</p> <p>ふりかえる</p>	<p>のときは、どんな様子ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれたときは、たいへん小さくて一円玉くらいの重さです。 ・目も耳もどこにあるのか、まだよくわかりません。 ・お母さんとは似ていません。 <p>◎カンガルーの赤ちゃんは、どのように大きくなっていきますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さな前足で、お母さんのおなかにはい上がります。 ・自分の力でおなかのふくろに入ります。 ・お乳を飲んで大きくなります。 ・六か月ほどたつと、ふくろのそとに出て、自分で草も食べます。 <p>◎ライオンの赤ちゃんやしまうまの赤ちゃんと比較して、似ている所や違うところはありますか。</p> <p><にているところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お乳を飲んで大きくなる ・えさを自分でたべられるようになる <p><ちがうところ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐにはい上がっていく ・お母さんになににいない <p>5 カンガルーの赤ちゃんのなるほどポイントをまとめる。</p> <p>◎カンガルーの赤ちゃんのなるほどポイントを書きましょう。</p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇大きさ</p> <p>◇目や耳</p> <p>◇おかあさんとくらべて</p> <p>②大きくなっていくようす</p> <p>◇あるく</p> <p>◇おちち</p> <p>◇たべもの</p> <p>●時間的な経過を表す言葉に着目し、時計やカレンダーを使って成長の違いについて実感できるようにする。</p> <p>◇生まれて六か月ほどたつと</p> <p>・ライオンやしまうまの赤ちゃんと比較しながら、カンガルーの赤ちゃんについてまとめる。</p> <p>・生まれたばかりの様子、大きくなっていく様子について、なるほどと思った点をまとめる。</p> <p>・次時からの『動物の赤ちゃんブック』を書く活動へとつなげる。</p>	<p>○カンガルーの赤ちゃんの様子を他の動物と比べながら読むことができる。</p> <p>(ワークシート・発言)</p>
--------------------------------------	---	---	--

9. 板書計画

どうぶつの赤ちゃん

ますい みつこ

④カンガルーの赤ちゃんは、どんなようすで生まれ、どのように大きくなっていくのかライオンやしまうまとくらべてよう。

とい①どんなようすをしているのでしょうか。

とい②どのようにして大きくなっていくのでしょうか。

ライオンの
赤ちゃんの
写真



しまうまの
赤ちゃんの
写真



カンガルー
の赤ちゃん
の写真

①うまれたばかりのようす

大きさ

・子ねごろうい。

目や耳

・とじたまま。

おかあさんとくらべて

・よわよわしくて、あまりにいていない。

①うまれたばかりのようす

大きさ

・やぎごろうい。

目や耳

・目はあいていて、耳もたっている。

おかあさんとくらべて

・そっくり。

①うまれたばかりのようす

大きさ

・一円玉ごろうい。

目や耳

・よくわからない。

おかあさんとくらべて

・にいていない。

②大きくなっていくようす

あるく

・じぶんではあるけない。はこんで

もらう。

おちち

・生まれて二か月ぐらいはおちちだけ。

たべもの

・一年ぐらいたつと、じぶんでつかまえてたべる。

②大きくなっていくようす

あるく

・生まれて三十ぶんもたないうちに、じぶんでたち上がる。つぎの

日には、はしる。

おちち

・たった七日ぐらいのあいだけ。

たべもの

・じぶんで草もたべるようになる。

②大きくなっていくようす

あるく

・小さなまえあしで、おかあさんのおなかにはい上がる。

↓あんぜん

おちち

・ふくろの中でのんで大きくなる。

たべもの

・六か月ほどたつと、ふくろのそとに出て、じぶんで草もたべる。